



## こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和7年12月11日(月)

### 第19回ののしろ市民まちづくりフォーラム開催 編

のしろ市民まちづくりフォーラムは今年度で19回目を迎え、今年も能代市旧料亭金勇 大広間にて会場聴講及びWEBを活用した配信での開催となりました。

基調講演第1部では、筑波大学名誉教授の石田東生氏より、「風景街道と地域生活圏」との題で、日本が抱えている問題から地域を良くするためには個々で何をすれば良いのか考えることができました。また、海外の参考事例も紹介いただき、非常に充実した内容の講演を聞くことができました。

第2部では、国土交通省道路局環境安全・防災課、交通安全政策分析官の田中衛氏より、「地域とともに歩む日本風景街道」と題し、来年迎える日本風景街道20周年に向けた取り組みや他地域の風景街道の情報など、これまでの経緯を踏まえながら講演いただきました。

第3部では、香川県高松市のむれ源平まちづくり協議会会長、新谷稔氏より「原風景『魅力と強み』を活かしたまちづくり！」と題し、香川県高松市牟礼町で行われている、むれ源平石あかりロードの取り組みを、写真を用いながらわかりやすく紹介いただきました。

その後、基調講演をいただいた講師3人によるフロアディスカッションを行いました。フロアディスカッションでは、これまでの風景街道の成果や課題を踏まえ、今後風景街道の取り組みを進めるにあたり何ができるのか、それぞれの立場でご意見やご提案をいただくとともに、講師の方々から多様なお話を拝聴し、参加者で共有することができました。

第19回ののしろ市民まちづくりフォーラムは、昨年に引き続き、会場参加者、WEB聴講者併せて約100名参加いただき、大変有意義なフォーラムとなりました。今回のフォーラムで学んだ「気がついたものの責任、出来るものの責任」のもと、今後も積極的に活動に取り組んでいきたいと思っております。

文： 成田 和幸



▲会場状況「能代市旧料亭「金勇」



▲講師の方々  
(上)石田氏、(中)田中氏、(下)新谷氏



▲フロアディスカッションの様子